

グリーンコンポスト事業の廃止について

グリーンコンポスト事業は、それまで焼却処分されていた樹木せん定枝を資源として有効利用することを目的に、平成 4 年 5 月に泉区の神明台処分地内に施設を設置し、グリーンコンポスト（たい肥）を製造・販売してまいりました。

施設設置から 19 年が経過する中で、樹木せん定枝をリサイクルする民間処理施設の整備が進み、搬入量が年々減少する一方で、当施設は長期の使用で老朽化が進み、設備の故障に伴う修繕が増加しています。

このようなことから、グリーンコンポスト事業については、廃棄物の資源化や民間処理施設の設置促進といった公の役割を終えたと判断し、今年度をもって廃止することとしました。

1 グリーンコンポスト施設の概要

- 施設所在地：泉区池の谷 3949 番地（神明台処分地内）
- 施設設備：破砕機 1 基、粉碎機 1 基、野積み場（5,000 m² × 2）、袋詰め施設
- 処理能力：18 t / 日
- 製造期間：10 か月間

2 民間処理施設の状況

稼働当初は、樹木せん定枝の資源化を行う民間事業者はありませんでしたが、平成 23 年 4 月現在、5 区で 8 事業者が営業を行っています。

区 名	事業者数	備 考
金沢区	3	民間施設の処理能力 約540,000(t/年) ※ただし、一般廃棄物と産業廃棄物と なる木くずを合わせた処理能力
戸塚区	1	
旭 区	1	
緑 区	1	
都筑区	2	
計	8	

3 施設の運営状況

(1) 事業実績

搬入量は、ピーク時には5千トンを超えていましたが、民間処理施設の進出に伴い、減少傾向となっています。

単位：トン

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
搬入量	5,048	3,922	3,523	2,792
出荷量	2,456	2,241	2,814	1,671

(2) 過去4年間の収支状況

搬入量の減少に伴い、事業収支が悪化しています。

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
歳入	54,105	42,667	42,814	41,350
処理手数料	45,190	37,801	34,574	36,714
売払収入	8,915	4,866	8,240	4,636
歳出	54,357	54,160	55,353	54,138
運営事業費	49,117	52,083	51,456	48,727
修繕費	5,240	2,077	3,897	5,411
収支	▲252	▲11,493	▲12,539	▲12,788

[参考]

平成21年度行政監査の結果（抜粋）

「グリーンコンポスト施設については、樹木せん定枝処理手数料やグリーンコンポスト製品等の販売収入以上に施設運営費等を要しています。

そこで、民間でも同様の樹木せん定枝のリサイクル施設が開設されていることから、同施設については、廃止も含めてあり方を検討する必要があります。」との改善要望が提示されています。

4 今後のスケジュール

23年 9月末 製品利用者への周知

23年 12月～ せん定枝を搬入する造園業者、許可業者への周知

24年 3月末 事業終了

24年度以降 施設の撤去等